

# 原水爆禁止西宮市協議会

昭和 29 年（1954 年）3 月 1 日、アメリカが行った南太平洋のビキニ環礁での水爆実験により、指定した危険水域の外側を航海していた静岡県焼津のまぐろ漁船“第五福竜丸”が放射能を浴びた事件を契機に全国各地で、原水爆禁止運動が起こりました。

当時のこのような動きに合わせ、西宮でも昭和 31 年（1956 年）に、第一回原水爆禁止西宮市民大会が開かれ、昭和 33 年（1958 年）7 月に、“原水爆禁止西宮市協議会”が結成されました。協議会は、「だれでも参加できるように」という基本理念に基づき、政党、政派、主義、主張、思想、信条、宗派の違いを越えて、統一した市民運動を続けており、西宮市原爆被害者の会をはじめ、市議会の各会派、労働組合、平和団体、婦人団体、文化団体などの団体が加盟しています。

戦争を知らない世代が多数を占めるようになった現在、世界最初の被爆国として、この悲劇を繰り返さないため、次世代へ歴史を伝え、平和への想いを引き継がなければなりません。西宮市は原水爆禁止西宮市協議会とともに、様々な平和啓発事業を実施し、平和の大切さと戦争の恐ろしさを訴えています。